

令和3年度市民等からの提案によるごみ減量モデル事業 採択団体一覧

採択団体数10件, 助成総額 3,000,000円 (助成種類別・五十音順)

■先進的モデル事業助成ー地域活動モデル(2件)

団体名	おむつなし育児研究所京都サロン	代表者	西山由紀
事業名	おうちでできるエコライフ! おむつで暮らしを豊かにしよう		
<p>布おむつやおまるを用いてこどもの排泄に寄り添う「おむつなし育児」を知ってもらうことで、環境問題に関心を持つ人を増やし、紙おむつごみや洗濯排水への意識啓発を目指す。コロナ禍で孤立化しやすく、経済面でも不安を感じることの多い子育て世代に対し、「おむつの貧困」を防ぐための取り組みとして、スタートキットのレンタルを実施し、利用者に対し継続的なフォローを実施する。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 450,000円]</p>			
団体名	株式会社 応用芸術研究所	代表者	代表取締役 片木孝治
事業名	地域・多世代連携で家庭内ストックを削減するリユースモデルのDX化推進		
<p>家庭内のストック(使われていないが、捨てられずに保管されているもの)を削減するストックレスなリユースモデルのDX化を推進。無理なく少しずつモノとの付き合い方を考えることにより、災害時の危険を減らしたり、日常生活を快適にしていける。またコロナ禍においても、地域・多世代が連携できる持続可能なリユースモデルとして、ごみ減量に向けた次世代育成と共に、啓発・普及促進を目指す。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 400,000円]</p>			

■地域活動事業助成(8件)

団体名	特定非営利活動法人コンシューマーズ京都	代表者	鯉江賢光
事業名	「プラごみ減らす知恵袋」製作と学習&啓発事業		
<p>プラスチックとの付き合い方について、意識啓発事業を行う。2020年度はレジ袋有料化にかかる取組を行い、アンケートや学習会参加者からは沢山のプラごみを減らす知恵が集まった。これらを「プラごみ減らす知恵袋(仮称)」として発行する。掲載する内容について理解を深める学習や調査、また新たなプラスチックとの付き合い方に関する学習会を開催する。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 345,000円]</p>			
団体名	SKY オールボランいろどり(彩)	代表者	辻 洋
事業名	ボランティア活動を楽しみ、ごみ減量にも楽しく取り組みます		
<p>ごみ拾いや祇園祭でのごみゼロなど、これまでボランティア活動を楽しみながら行う中で「ゴミを減らすんだ」という意識を常に持って行動している。意識啓発・広報活動にも力を入れ、あわせて家庭では家族を巻き込んでごみの減量を実践する。生ごみのたい肥化や、「食ロス革命」のようなプロジェクトにも可能な限り積極的な参加を呼びかけ、食のごみ減量活動を行う。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 290,000円]</p>			
団体名	生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ もり部	代表者	森 知津子
事業名	京都の自然と輪っかになろう~もり・つち・たべもの		
<p>食べ物をはぐくむ土の大切さ、土からいただく命、自分の暮らしと自然とのつながりを感じ、森の循環と同じサステイナブルな暮らし方を台所から考えることを目指し、森の落ち葉たい肥で生ごみコンポストを実践する活動を行う。生ごみたい肥化関連講習会等で使う啓発用冊子や教材(紙芝居)を作成し、本活動の普及拡大に活用する。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 350,000円]</p>			
団体名	特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都	代表者	澤田政明
事業名	食品ロス削減のための出前授業		
<p>主に京都市内の小中学校で「食品ロス削減のための出前授業」を行い、小中学生に対し食品ロスの問題提起を行い、行動変容を促す。また、授業の内容を家庭などで発信してもらうことで、食品ロス削減の行動変容の輪を広げる。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 250,000円]</p>			
団体名	NPO 法人地域共生開発機構ともつく	代表者	河本歩美
事業名	ペットボトル花風車など、廃材アートが創る多世代交流の場		
<p>当団体が実施する地域づくり活動の一環である日常的な多世代交流イベントにおいて、ペットボトルや廃棄する布などを利用した活動を展開する。ペットボトルでひまわりや百合などに似せた花風車を作成。また、廃棄する布を使用したオーナメント作成など、それらのイベントを通して多世代が交流するコミュニティづくりの推進を行う。同時に廃棄物に関して、ごみの再利用に向けたレクチャーもを行い、ごみ減量の意識の醸成も行う。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 250,000円]</p>			
団体名	一般社団法人ふろしき研究会	代表者	森田知都子
事業名	Let's SDGs with FUROSHIKI ふろしきで SDGs!		
<p>日本伝統文化の象徴であるふろしきは、SDGsの持続型資源循環社会の理念を体現した暮らしの布。リユース性、リデュース性があり、ごみ減量をもたらす。ふろしき製造の拠点である京都で、SDGsをテーマに、ふろしきデザインコンテストの実施。応募、応募作によるデザイン原画展の開催、審査、表彰をオンラインで開催。昨年度実施した「ふろしきエコバッグを持とう!」を引き継ぎ、大学・商業施設を会場に、レジ袋削減に加え、SDGsへの理解を求める事業として展開する。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 390,000円]</p>			
団体名	桃山エコ推進委員会	代表者	大倉正暉
事業名	ごみ減量のエコ地域づくり~学区内・学区外のネットワークを推進する~		
<p>当会は設立から7年目を迎え、ロケットストーブ・生ごみ堆肥・緑のカーテン等のごみ減量・エコ活動について、京都市内でも先進的な取組を継続してきた。コロナ禍の現在、大きなイベントの実施が難しいため、ロケットストーブや生ごみ堆肥等の実践者の経験交流を行うことで、各取組のレベルアップを目指し、さらにノウハウをまとめて学区内外に発信し、京都市のごみ減量・エコ地域づくりの発展に貢献したい。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 135,000円]</p>			
団体名	Ladies' Eco Circle プラムロード	代表者	中村吉江
事業名	エコおばちゃん 2021 プロジェクト With Covid-19		
<p>コロナ禍、子どもたちと年間環境の活動を行う「エコシューレ」を中心とする本来のエコおばちゃんの活動が停滞する中、下京区役所での屋上緑化活動経験の流れから、下京いきいき市民活動センターのテラスで利用者とともにSDGsを考えて、環境にいい取組を進める。たい肥化の取組とそれを生かした緑化、エコシューレで培った取組について、利用者や近隣の方を巻き込んで進める。</p> <p style="text-align: right;">[交付予定金額 140,000円]</p>			

